

IV 資産の有効活用 及び附帯事業

1 資産の有効活用

(1) 近年の取組

- 平成26年2月 東西線建設工事等で使用し不要となった用地1箇所を随意契約により売却
- 平成28年3月 交通局厚生会から引き継いだ物件を一般競争入札により売却
- 平成28年4月 バス操車場として使用していた施設を市長部局へ有償管理替え

(2) 高度利用

場 所	北大路地区 (市バス島丸営業所、バスターミナル、地下鉄北大路駅)	市バス三哲操車場	市バス梅津営業所
内 容	商業、文化施設等の複合施設の建設用地として賃貸(地階にバスターミナル・バス車庫を設置し、局が区分所有)	日本生命のテナントビル建設用地として賃貸(1階はバス操車場として賃借)	京都外国語大学の学校施設の建設用地として賃貸(1階バス車庫、2階以上に区分地上権を設定)
賃貸先	株式会社OPA	日本生命保険相互会社	京都外国語大学
賃貸面積	22,373.28平方メートル (うち貸付面積17,588.44平方メートル)	2,531.92平方メートル (うち賃借分921.86平方メートル)	区分地上権 9,380.03平方メートル (地上権619.97平方メートル)
元年度収支	474,600千円	賃料 181,560千円 (操車場賃借料 △49,475千円) 差引 132,085千円	92,578千円 (駐輪場 6,480千円含む)
竣工	平成7年2月25日	昭和61年4月17日	平成元年3月17日

(3) ビルの賃貸

場 所	京都三条大橋ビル	四条地下鉄ビル	地下鉄くいな橋駅前ビル	今出川地下鉄ビル
内 容	朝日生命保険相互会社と京都高速鉄道(株)が共同で出入口と合築の5階建賃貸ビルを建設し運営していたものを京都高速鉄道(株)から平成21年3月に引き継ぎ、平成24年7月には朝日生命保険相互会社の持分を買収し、現在は単独所有	財団法人京都市交通事業振興公社が運営していた7階建てビルを平成24年4月に引き継ぐ。リニューアル工事を実施し、平成29年度から営業再開	くいな橋駅前敷地を有効利用のため2階建賃貸ビルを建設	財団法人京都市交通事業振興公社が運営していた3階建てビルを平成24年4月に引き継ぐ。
賃貸先	ブリヂストン化工品ジャパン(株)ほか8社	(株)GLOBALEYESほか4社	医療法人社団将医会ほか1社	妙秀福祉会・リラックスデザインワークス
賃貸面積	建物 1,619.70平方メートル 駐車場(3段式立体) 13台	建物 1,213.92平方メートル	建物 324.45平方メートル 駐車場 36.1平方メートル	建物 908.83平方メートル
元年度収支	収入 42,931千円 支出 19,581千円	収入 13,100千円 支出 8,405千円	収入 9,461千円 支出 962千円	収入 6,000千円 支出 4,554千円
竣工等	平成9年11月 平成21年3月 受贈	昭和56年1月 平成24年4月 受贈	平成6年12月	昭和56年10月 平成24年4月 受贈

(4) 土地の賃貸・使用許可

場 所	伏見区醍醐川久保町用地	南区吉祥院仁木ノ森町
内 容	自動車販売店の設置による賃貸	撤去自転車の保管場所
賃貸先	京都ダイハツ販売(株)	京都市長(京都市建設局)
賃貸面積	土地 1,127.71平方メートル	土地 2,359.66平方メートル
元年度収入	収入 10,200千円	収入 1,782千円
竣工等	平成26年6月 賃貸開始	平成5年8月 許可開始 令和元年7月 許可終了

注 消費税及び地方消費税を含みます。

2 地下鉄駅構内営業料収入

店舗収益の向上，令和2年2月の「コトチカ山科」リニューアル，及び消費税改定等により，令和元年度の収入は前年度から約14百万円増加し，11.2億円となりました。

(1) 令和元年度収入の内訳

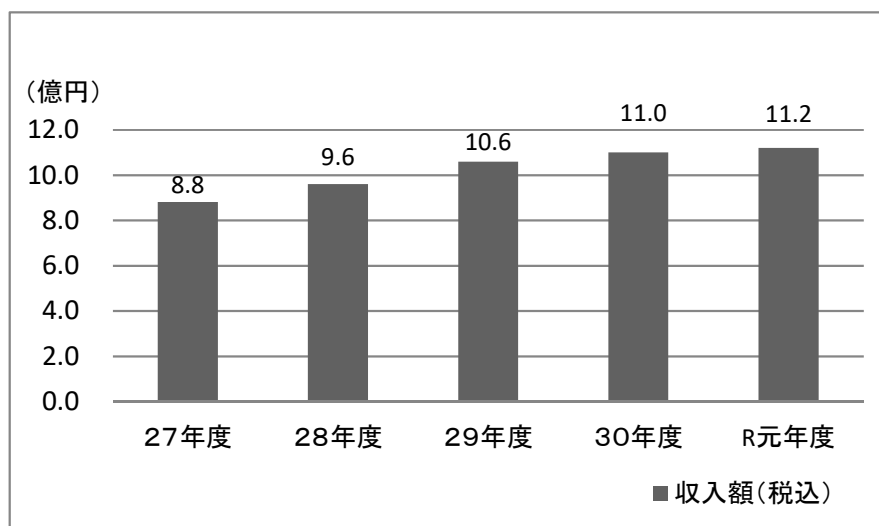
(単位 千円)

区分	内容	収入額
コトチカ	ファッション，雑貨，カフェ，ベーカリー，コンビニ等 (京都，四条，烏丸御池，山科，北大路駅等計12駅50店舗)	725,650
その他	自動販売機・ATM等	390,388
計		1,116,038

注1 消費税及び地方消費税を含みます。

注2 店舗数は令和2年3月31日現在です。

(2) 収入額の推移 (過去5年間)



3 広告料収入の推移

令和元年度は、前年度に比べて市バス、地下鉄ともに収入額が減少しました。

市バスにおいては、パートラッピング広告や乗車券カード広告による広告収入が増加しましたが、フルラッピング広告や車内のポスター広告、車体外側の広告が大きく減少したことから、全体として減収となりました。

地下鉄ではラッピングトレイン広告や駅構内に設置しているデジタルサイネージ広告は増加しましたが、車内中吊り広告など紙媒体の広告収入、駅構内の柱巻広告や壁面を利用したシート貼広告が大きく減少したことから全体としては減収となりました。

両事業全体の広告料収入としては、烏丸線四条駅へのデジタルサイネージ広告の新設など増収に向けた取組を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年2月以降、イベント関係の広告のキャンセルが多数生じ、広告料が減少したことから対前年度比で2.4%のマイナスとなりました。

(単位 千円)

区分	年度	27年度		28年度		29年度		30年度		元年度		前年度比較	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	差引	増減率
自動車	車内B3額面	86,567	23.8%	74,055	20.3%	73,852	19.6%	71,806	19.2%	66,688	18.9%	△ 5,118	△ 7.1%
	車内放送	4,968	1.4%	4,968	1.4%	4,968	1.3%	4,968	1.3%	5,014	1.4%	46	0.9%
	車内その他	15,509	4.2%	11,171	3.0%	10,939	2.9%	11,441	3.1%	11,361	3.2%	△ 80	△ 0.7%
	車体外側	144,649	39.8%	144,026	39.4%	142,552	37.8%	138,857	37.1%	132,439	37.5%	△ 6,418	△ 4.6%
	ラッピング	102,424	28.2%	117,520	32.1%	135,433	36.0%	134,850	36.1%	125,550	35.6%	△ 9,300	△ 6.9%
	その他	9,624	2.6%	13,917	3.8%	8,981	2.4%	12,011	3.2%	12,053	3.4%	42	0.3%
	計 〈消費税等を除く〉	363,741 <336,797>	100.0%	365,657 <338,571>	100.0%	376,725 <348,820>	100.0%	373,933 <346,234>	100.0%	353,105 <323,891>	100.0%	△ 20,828 △<22,343>	△ 5.6% △<6.5%>
高速鉄道	車内ポスター	288,274	37.9%	273,856	35.8%	261,694	34.5%	231,294	31.6%	225,139	31.0%	△ 6,155	△ 2.7%
	ステッカー	33,518	4.4%	25,206	3.3%	33,267	4.4%	30,872	4.2%	29,790	4.1%	△ 1,082	△ 3.5%
	車内放送	21,600	2.8%	21,600	2.8%	21,600	2.8%	21,600	2.9%	21,800	3.0%	200	0.9%
	電照	243,194	32.0%	238,555	31.2%	233,907	30.9%	230,910	31.5%	243,669	33.5%	12,759	5.5%
	駅舎ポスター	121,852	16.0%	159,800	20.9%	161,467	21.3%	172,109	23.5%	153,837	21.2%	△ 18,272	△ 10.6%
	その他	52,177	6.9%	46,376	6.0%	46,012	6.1%	46,110	6.3%	53,020	7.2%	6,910	15.0%
	計 〈消費税等を除く〉	760,615 <704,273>	100.0%	765,393 <708,697>	100.0%	757,947 <701,803>	100.0%	732,895 <678,607>	100.0%	727,255 <667,085>	100.0%	△ 5,640 △<11,522>	△ 0.8% △<1.7%>
合計 〈消費税等を除く〉	1,124,356 <1,041,071>		1,131,050 <1,047,269>		1,134,672 <1,050,622>		1,106,828 <1,024,841>		1,080,360 <990,976>		△ 26,468 △<33,865>	△ 2.4% △<3.3%>	

